

専門部会（令和5年10月30日）での取りまとめ

■これまでの審議を経ての方向性

- ・ICTは多様であり、また、身近なものであるため、様々な立場、観点からの意見があり、議論がかなり広がっている。
- ・前期からの継続審議で、議論もかなり深まっている。より具体的な議論を進めていくことが必要である。

文化芸術振興会議として具体的な取組みにつながる提言が必要

- ・文化芸術団体にアンケート調査を以前行い、ウェブは大体普及しているが、SNSなどのICTは使えていないことが分かった。
- ・新宿フィールドミュージアムは情報発信が十分ではない。

- ・公開空地は基本的には民間の土地なので、有効利用されていなかったが、今後、本当のパブリックスペースになるかもしれない。

ICTの活用については、「情報発信」の強化を中心にする。

公開空地等の公共的空間での文化芸術の活用方法を中心にする。

■調査審議事項1 調査審議事項1 「新しい生活様式を見据えた文化芸術振興におけるICTの活用」について

- ・「新しい生活様式を見据えた」という文言は、コロナ禍が収束したため削除する。
- ・ICTの活用の後に、「文化芸術振興におけるICTの活用による情報発信の強化」とし、情報発信に特化したICTの活用を調査審議事項とする。